

平成二六年度 卒業式 学長告辞

学長 篠塚 徹

春の訪れも近い本日、ここ北海道深川の地において卒業式に臨んでおられる百六十六名の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。また、この晴れある日を迎えるまで終始学生を暖かく見守り励ましてこられたご両親をはじめご家族の皆さまにも心からのお祝いを申し上げます。この世に生を享けて以来今日まで皆さまが慈しみ育てこられた学生たちは、今心身ともに大きく成長して新たな人生に進もうとしています。

卒業生の皆さんは、拓殖大学北海道短期大学に入学して以来、多くの友人を得て勉学やサークル活動に励んでこられたことと思います。楽しんだり苦しんだりしながら汗や涙を流し、貴重な体験を積み重ねてきた学生生活を振り返るとき感慨もひとしおのことでしょう。それだけに学窓を去るに当たって惜別の情が湧くとともに、新たな人生へ踏み出す喜びもまた大きいことと思います。

卒業生の皆さん、あなた方は本日この広大な魅力溢れるキャンパスに別れを告げ、それぞれの道へ歩んでまいります。目の前には多様な進路があります。農業などの家業を継ぐ人、保育園や企業などに就職する人、拓殖大学など四年制大学へ編入してさらに勉学を続ける人、将来に備えて農業技術など海外研修をうける人など、さまざまな分野に進みます。皆さんがどのような道を選ぶにせよ、かけがえのない青春の貴重な一時期を本学で学び過ごした経験が起伏に富んだこれからの人生において必ずや役立つことでしょう。本学で得られた素晴らしき仲間との友情、教えを受けた教職員との絆、地域の人々との触れ合い、ひたすら育ててきた作物を収穫する喜び、地域の行事などに意味ある形で参画した充実感、ミュージカル公演に向けて傾けた情熱と長く苦しい過程が報われた公演成功の喜び、スポーツや音楽などに打ち込んだサークル活動によって学んだ努力し協調することの尊さ、ボランティア活動を通じて得られた奉仕の精神などが、あなた方の血となり肉となって人間の幅を広げ、これからの人生を切り開いていく原動力になると信じています。

留学生の皆さん、あなた方は気候風土や風俗習慣の異なるこの地において熱心に勉学に励み、よくぞ卒業式というこの日を迎えることができました。北の大地で日本人学生とともに学び抜いた経験は生涯忘れ得ぬ良い思い出になるとともに、進学や就職などあなた方の進路に大いに活かすことができるでしょう。願わくは今後日本の良き理解者となって母国と日本の架け橋になっていただきたいと思えます。

若い学生とともに学んでこられた社会人学生の皆さん、晴れてこの卒業式を迎えられたことに対して心からの祝意と敬意を表します。記憶力の減退や肉体の衰えを実感しながらも真摯に授業に臨む姿は若い学生たちの見本となり、生涯学習の素晴らしさを身をもって示されました。この二年間の学習を活かして、さらに心豊かな人生を歩まれることを切望いたします。

平成七年一月に発生した阪神・淡路大震災から二十年、平成二十三年三月に発生した東日本大震災から四年が経過しました。ここ北海道を含め日本列島はさまざまな自然災害に見舞われ、今なお深い傷跡が残る被災地も多い状況です。改めて亡くなられた多くの御霊のご冥福をお祈りするとともに被災地の方々に心からお見舞い申し上げます。さて、このような自然災害は日本に限らず、地球上のさまざまな国や地域で発生しています。私たち人類は自然から多くの恵みを受けていますが、他方において常に自然の脅威にさらされていることも事実です。私たちは自然の持つ二面性を謙虚に受け止め、国境を越えて防災に努めると同時に、地球上の生きとし生けるものとの共存を図っていかなければなりません。そのためには民族や宗教の差異をお互いに認め合い、それらを乗り越えながら、人間の英知を結集して平和な地球を構築していく必要があります。この面において学窓を巣立つ皆さんが、学んだ成果を大いに生かしていくことを期待しています。

昨年末のときならぬ総選挙を経て第三次安倍内閣が成立しましたが、いよいよアベノミクスの真価が問われる時期にさしかかっています。マクロ経済の改善が国民各層の所得向上につながることも、次代を背負う若者たちが未来に希望をもって生業に就くことができる環境を整えることが何よりも重要です。また、疲弊した地方経済の再生なくして国のさらなる発展はありえないことを深く認識し、農業を含め地方を彩る産業の発展に努めるべきです。

科学技術が高度に発展し経済のグローバル化は一層進んでいます。国境を越えた資源の最適配分というこの現象がもたらす有益な側面は大いに享受する一方、負の側面は断固排除していかなければなりません。農業分野など貿易財として必ずしも全面的な自由化にならない部門もあり、環境保全を含めて調和のとれた持続可能な社会を構築することが、人類共通の利益になるのです。

卒業生の皆さん、このような状況を見据えたうえで、在学中に学んだことを基に考える力を大いにつけて日本のみならず世界に向けて歩んで行ってください。卒業後も前を向いて学び続けることよって、より良き自分の道を切り開くことができます。

皆さんの母校である拓殖大学北海道短期大学は来年度開校五十周年を迎えますが、今後も北の大地、深川市に腰を据え、あなた方を応援し続けます。嬉しいときも、悲しいときも、困ったときも、いつでも母校に声をかけ、相談してください。皆さんが健康を心がけ、活躍されることを心からお祈りいたします。ご卒業、本当におめでとうございます。